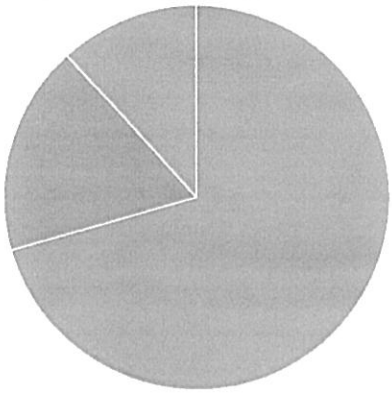
『情報機器の活用に関するアンケート』のアンケート結果 [教師]

令和2年度、あなたが担当されている教科で、ICT機器をどの程度活用されているとお感じですか。

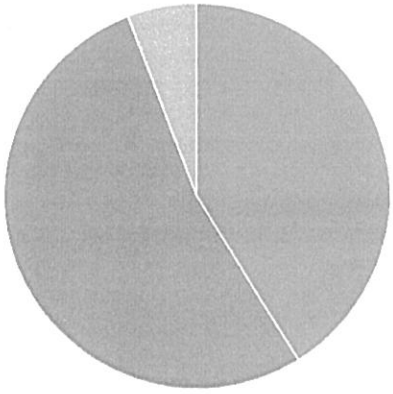
よく活用している	12/17	70%
時々活用している	3/17	17%
あまり活用していない	0/17	0%
全く活用していない	2/17	11%
（選択なし）		0



※回答者の名前は表示されていません。

コロナ禍前（2020年春節前）と現在で、ご自身のICT機器のスキルはどのように変化したとお感じです か。

非常に向上した	7/17	41%
まあまあ向上した	9/17	52%
変化なし	1/17	5%
少し鈍った	0/17	0%
とても鈍った	0/17	0%
（選択なし）		0



※回答者の名前は表示されていません。

電子黒板を導入したことによってご自身の授業はどのように変化したと感じますか。（授業準備、授業中の見取り、評価など）

電子黒板での成果は、残念ながらありませんでした。すみません。

教室に電子黒板がないため、使用していません

使用していません

まだわかりません。

電子黒板は英語のデジタル教科書を再生して使用するために使いました。画面が大きく、よく見えていいと思いますが、担任ではないため、授業ごとに教室を移動しなければならず、教室ごとに違う配線をしなければならなくなり、授業準備の時間が余計に必要になりました。その割に、電波がよく繋がらず、効率が悪いため現在は使用していません。登校が再開し、対面授業になったら活用していこうと思います。

電子黒板は一度もしようしたことがありませんが、新しく入ったモニターは講堂で使用しています。特に変化はありません。

電子黒板に板書内容を直接書いて授業を行うことができるため、前回までのオンライン授業に比べると授業準備にかかる時間が減った。

挿絵など印刷せずに提示ができるようになった。データでの管理ができるようになって、使える幅が広がった。

授業がないため分かりません。

対面式の授業に近い立ち回りで授業が展開できていると感じました。

授業中の生徒の様子を把握しやすくなったため、生徒のつまづきにも気づきやすくなったように感じる。

国語では教科書の文字を提示しながらの範読ができるので、児童の見取りができた。ワークシートを自作せずに活用することができ、教材研究の時間短縮ができた。

対象外

授業準備時間が減った。

活用する場面はまだありません。

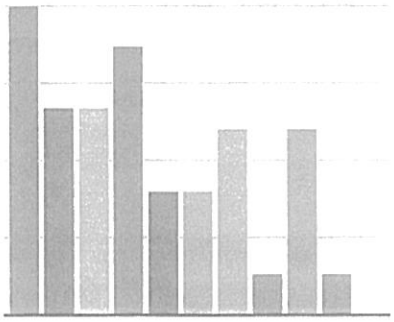
使用方法はパソコンとほぼ同じであるが、画面が大きい分、それをどのように活用すれば生徒に通じる授業となるかを考えるようになった。

NHK for schoolの動画を再生して提示することが電子黒板の操作のみで可能となった。これまでは、PC（iPdd）をモニターに繋がなければならなく一手間あったのが、授業準備に時間がかからなくなった。また大型モニターで動画を再生することで教室内で児童生徒の画面の見にくさが解消された。

電子黒板を導入したことによって児童、生徒はどのように変化したと感じますか。
あまり、変わらないのかと感じました。
教室に電子黒板がないため、使用していません
使用していません
まだわかりません。
英語に関しては、従来と同じデジタル教科書を使用しているため、特に変化は感じられません。
電子黒板を使用していないので答えられません。
DingTalkでオンライン授業を行うようになり、児童に鮮明な板書を見せることができるようになり、児童も黒板の板書をカメラで写すより電子黒板で直接書き込んだ板書の方が見やすいと話している。
今回のオンライン授業に限り、はっきりと板書をうつすことができ、学校に登校している時と変わらずノートをとれているようだ。（パワーポイントの共有により）
授業がないため分かりません。
登校が始まったら、クラス全員で一つの情報を共有しながら、意見を交換して高め合うことができると思います。
視覚的に様々な資料を提示することができるため、学習内容の定着の高まりがみられた。
国語の教科書範読時にどの部分を読んでいるか色付けされるので見やすかったようだ。 資料として動画も使用できるので、関心をもってみることができた。
対象外
特に大きな変化なし。
同上
課題等の提示の仕方がいつもと変わってきたと感じていると思う。
電子黒板で大きく映すことで、児童生徒の興味・関心が高まり、より意欲的に学習に取り組むように変化したと感じている。

あなたが担当されている教科で以下のICT機器を活用していますか。【複数回答可】

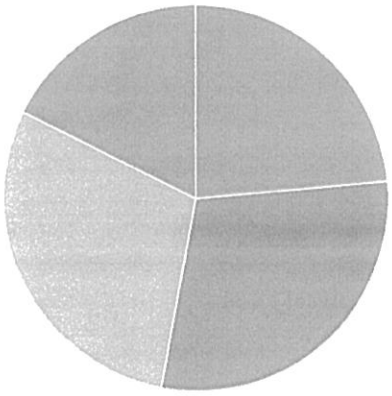
授業で扱う課題に関して、ウェブサイト（サイト上の映像なども含む）などを児童・生徒に見せる。	15/17	88%
授業で扱う課題に関して、児童・生徒にインターネットで情報収集させる。	10/17	58%
授業で扱う課題に関して、教科書準拠のデジタル・ICT教材を活用する。	10/17	58%
授業の解説や要点などをスライドなどにまとめ、児童・生徒に見せる。	13/17	76%
授業で扱う課題に関して、デジタル学習用コンテンツなど、市販のICT教材を活用する。	6/17	35%
児童・生徒に課題を与え、スライドなどにまとめて発表させる。	6/17	35%
レポートや感想文・課題などを電子データで作成させる。	9/17	52%
インターネット（電子メールやウェブサイトなど）で学校外の人（他校、海外など）と交流させる。	2/17	11%
授業中に児童・生徒からの応答や回答などをリアルタイムにチェックする。	9/17	52%
その他	2/17	11%
その他	0/17	0%
（選択なし）		0



※回答者の名前は表示されていません。

あなたの担当している授業において、児童生徒にどの程度ICT機器を活用させていますか。

よく活用させている	4/17	23%
ある程度活用させている	5/17	29%
あまり活用させていない	5/17	29%
まったく活用させていない	3/17	17%
（選択なし）		0



※回答者の名前は表示されていません。

あなたの担当している授業において、児童生徒にどの程度ICT機器を活用させていますか。

授業の中で、パソコン・ｉＰａｄを使わせています。
一週間に一度は授業で使わせています。

課題等のやりとりにロイロノートを活用

音楽科は副教科であるため、ipadなどの使用の優先順位は下位になると感じられるため。

機会がない。

英語や中国語の練習で、録音ができる児童はＤｉｎｇｔａｌｋに送ってもらっています。また、プリントなども写真に撮って送ってもらっています。ロイロノートを児童が使えるようになった学年は、ロイロノートを通して課題の提示・回収を始めたところです。

保健体育科の授業では体を動かすことをメインに授業をしているので、オンラインでICTを活用する場面はほとんどありません。

まとまった時間をとることができなかったため。

調べ学習、意見の提示、少しの意見や図形の書き込みにしかICT機器活用できなかったから。

授業がないため分かりません。

資料の提示と課題の提出の際に利用。３回に１回程度使用しています。

ロイロノートを活用した課題提出や感想の提出
ディントークを活用した授業

自分があまり得意ではないので、ノートや黒板を使用した授業が多い。

対象外

オンライン授業でも対面授業でも同じよう方法で授業をしていれば、不測の事態に対応できるから。

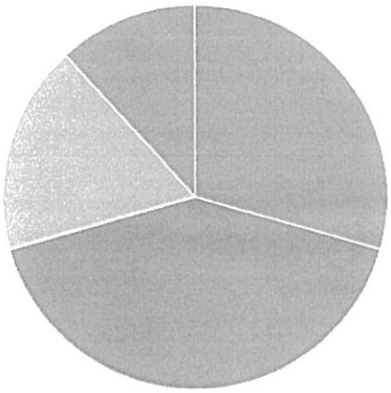
オンライン授業では、双方向の通信アプリだけでは見取りが難しいため、補助的に活用している。また、考えの根拠となる資料など、提示をするために有効活用できる。

遠隔授業で使っていること自体、活用していると思う。ただ、今後はその学びの深さや授業の内容によりフォーカスして言う必要があると考える。

通常授業、オンライン授業どちらの場合においても、ロイロノートを使用し、リアルタイムで生徒の考えや意見、問題に対する答えを共有するようにしている。また、発表資料もロイロノートで作らせ、すぐに発表、意見交換などを行って、ICT機器を活用させている。

デジタル教科書やロイロノート、実物投影機を導入したことによって、ご自身の授業が変化したと感じます か。

とても感じる	5/17	29%
少し感じる	7/17	41%
あまり感じない	3/17	17%
感じない	2/17	11%
（選択なし）		0



※回答者の名前は表示されていません。

デジタル教科書やロイロノート、実物投影機を導入したことによって、ご自身の授業が変化したと感じます か。

今まで使っていたので、あまり変化はないです。

オンライン授業の際に、資料の提示や課題のやりとり等で活用するようになったが、そこまで大きな変化は感じていない。

特にロイロノートを導入したことにより、オンライン授業の場合でも、従来不可能と思われていた学習内容に少し取り組めるようになった。(リコーダー演奏など)

効果的に、的確に、スピーディーに伝えたい・教えたいことを提示することができる。

英語のデジタル教科書は以前から使用していますが、ロイロノートを使用し始めてからは、オンライン授業で音声を同時に送ってもらえるので、一人一人とやり取りする時間が削減できるのではないかと思います。まだ児童がロイロを使い始めたばかりなので、これからどのように活用していくかが課題です。

すみません、まだ使用していないので、ロイロノートに関してはこれから使いたいと思います。他教科に関しては、使用しているようなので生徒はICTへの興味関心や、機器を使いこなす力はついていると思います。

ロイロノートを使用したことにより、オンライン授業中の課題の回収、採点、返却にかかる時間が短縮された。

子どもの意見の共有がしやすくなった

授業がないため分かりません。

アナログな作業が減りました。

生徒への説明や指示が以前よりも伝わりやすくなった。
授業中に生徒の考えを共有しやすくなった。
課題提出状況の把握やしやすくなった。

児童への課題の送信や児童からの提出が容易になった。

対象外

使うものは変わっても今まで通りの授業の流れをできている。

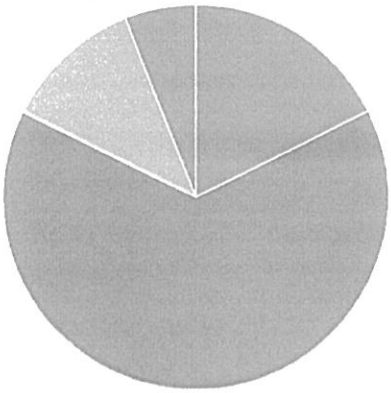
オンライン授業においては、ロイロノートは非常に有効でした。
ただ、効率的ではあるものの、対面授業においては中核たるツールとして使用するには至っていません。

繰り返し用いる資料などはデジタル教科書での提示は大変効果があると考える。また、実物投影機についても、生徒登校下での授業で使用していきたいアイデアはあり、大きな変化ではないかもしれないが、変化する可能性は高い。

授業の準備や宿題の回収、返却に時間がかからなくなった。

デジタル教科書やロイロノート、実物投影機を導入したことによって児童、生徒はどのように変化と感じま すか。

とても感じる	3/17	17%
少し感じる	11/17	64%
あまり感じない	2/17	11%
感じない	1/17	5%
（選択なし）		0



※回答者の名前は表示されていません。